

教育に関する事務の点検・評価報告書 (令和 6 年度)

南伊勢町教育委員会

令和 7 年 9 月

目 次

I 趣旨

II 点検対象

III 点検・評価の実施方法

IV 令和 6 年度 事業施策の成果及び執行実績

A 学校教育の充実(313-1)

B 教育環境の整備・充実(313-2)

C 子どもたちの活動の場づくりの推進(314-1)

D 地域ぐるみで連携した取り組みの強化(314-2)

E 生涯学習の推進(411-1)

F 図書室の運営(411-2)

G スポーツの推進(411-3)

H 芸術文化の鑑賞や活動機会の提供(412-1)

I 伝統文化の継承と文化財の保全と活用(412-2)

J 資料館の充実(412-3)

I 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年度の教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、教育委員会が行った点検評価をまとめたものです。

II 点検・評価対象

教育委員会が前年度に実施した施策等（事務・事業）の点検・評価を行います。

III 点検・評価の実施方法

1. 前年度に実施した主な取組の内容、実績等を次の区分により自己評価します。

点検・評価の実施方法等については、随時改善を行っていきます。

- A ～ 達成している（90%～100%）
- B ～ ほぼ達成した（70%～89%）
- C ～ やや達成していない（51%～69%）
- D ～ 達成していない（50%以下）

2. スケジュール

- 4 月 ～ 7 月 教育委員会での点検・評価
- 8 月 教育委員会
- 9 月 議会への報告
- 10 月 町ホームページへの公表

IV 令和 6 年度 事業施策の成果及び執行実績

A

施策名	学校教育の充実と環境整備		施策コード	313
事業名	A 学校教育の充実		事業コード	313-1
事業内容	<p>子供たちのさらなる学力向上を図るために指導者用デジタル教科書の導入と各小中学校に電子黒板を 3 台ずつ整備。整備済の一人一台タブレットとの相乗効果を高め、板書やプリントの配布や回収等に割いていた時間を削減することで授業を効率的に進めることにより、学習進度を早め、思考力や判断力、表現力を育む時間に充てる。</p> <p>ICT 支援員の配置により電子機器の操作の苦手な教員や児童生徒のフォローアップを図る。</p> <p>ふるさと南伊勢に誇りを持ち、将来、南伊勢町を町内から、また町外から支える人材を育成するために、地場産業の体験や地域での調べ学習等、ふるさと南伊勢を愛する教育の充実を図ります。</p>			
成 果	<p>令和 6 年度末で、電子黒板を小学校 3 校へ 3 台ずつ計 9 台、中学校 2 校へ 3 台ずつ計 6 台の整備を行った。</p> <p>南島中学校の修学旅行の行程にふるさと教育の一環として東京の三重テラスにて地域の紹介、特産物の販売、ふるさと納税の紹介を行った。</p>			
課題事項	<p>ICT 推進により、電子機器やアプリが日々更新していく中、児童、生徒、教師へアプリや SNS、セキュリティーに対する更なる活用意識の向上が必要である。</p> <p>南勢中学校でも町外に向けてふるさと教育の成果を発表する場を設ける。</p>			
対応方法	<p>ICT 支援員の活用により、機器を使いこなせない人達の早期フォローアップに努める。</p> <p>各中学校と協議し、ふるさと教育の成果発表の方法を検討する。</p>			
主要細事業	細事業名	内容		実施値
	教育委員会運営事業	教育委員 4 名 会議：年 12 回		11 回
	学校運営協議会運営事業	会議：年 3 回 入学祝金 76 名		3 回、76 名
	ふるさと学習推進事業	ふるさと PR 活動 体験学習 水産学級		5 校
	GIGA スクール推進事業	ICT 支援業務委託 電子黒板購入 8 台		週 1 回、8 台
	高等学校支援事業	通学費等補助金 見込 160 名		132 名
	小・中学校教育充実事業	教育学習支援員業務委託、ALT 派遣業務委託		5 校、ALT2 名
評 価	A			

B

施策名	学校教育の充実と環境整備	施策コード	313
事業名	B 教育環境の整備・充実	事業コード	313-2
事業内容	<p>南海トラフ地震の津波被害から児童を守る為、加えて少子化による児童生徒数の減少による教育環境の改善を計る観点から南島西、南島東両小学校を統合し、高台である南島中学校敷地に小中一貫校の整備を計画する。</p> <p>また子育て世代の生活支援のために引き続き小中学校の給食費の無償化を継続する。</p>		
成 果	<p>令和 6 年度に南島地区小中一貫校整備のための基本構想とプロポーザル方式設計業者の選定を行った。</p> <p>令和 4 年 7 月より小中学校の学校給食無償化を実施。</p>		
課題事項	<p>令和 9 年 4 月開校を目指し、既存中学校敷地内への新設計画、保育園の高台移転による協議、期間での多額の費用の発生や調整に時間を要する。</p>		
対応方法	<p>国県の補助制度を活用し、町の負担割合を減らす。</p>		
主要細事業	細事業名	内容	実績値
	小中学校統廃合推進事業	実行委員会 1 回、部会 11 回、給食室改修	1 回、7 回
	小・中学校管理事業	施設管理、施設整備	5 校、78・15 件
	小・中学校給食事業	賄材料費、調理業務委託	5 校
	小・中学校通学バス運行事業	通学バス運行委託	3 業者
	奨学金貸与事業	選考委員会 1 回、継続貸付金	1 回、継続 3 名
評 価	A		

C

施策名	地域での青少年の健全育成		施策コード	314
事業名	C 子どもたちの活動の場づくりの推進		事業コード	314-1
事業内容	青少年育成町民会議の活動において、子どもたちが元気で活発に育つことのできるよう、子どもたちの活動の場や居場所づくりとして長期休暇期間中のイベントを開催する。 少年警察協助員、各中学校教諭、各学校 PTA 代表等を「南伊勢町青少年指導員」として委嘱し、協議会を組織して活動することで、学校、家庭、地域が連携して、青少年の健全育成を図る。			
成 果	コロナウイルス終息により、令和 5 年度から居場所づくりとして、お化け屋敷や和太鼓教室等を再開し、令和 6 年度は、お化け屋敷へ 194 名の来場があった。和太鼓教室は 12 名の参加があった。長期休暇を中心としての地域パトロールの実施（5 回）			
課題事項	夏休み期間での、子どもたちが参加しやすいイベント日程、他部署との連携したイベントを考える。青少年指導員が減少している。			
対応方法	アンケート等による子どもたちのニーズを把握する。 地域や関係機関と連携し、青少年指導員の活動を継続する。			
主要細事業	細事業名	内容		執行額(千円)
	青少年育成事業	青色パトロール、お化け屋敷・和太鼓教室		2 回、206 名
評 価	A			

D

施策名	地域での青少年の健全育成		施策コード	314
事業名	D 地域ぐるみで連携した取り組みの強化		事業コード	314-2
事業内容	人生の節目を迎えるにあたり、社会的責任を改めて自覚し、家族や友人、地域との繋がりを再認識する場として、「南伊勢町二十歳のつどい」を実施する。			
成 果	令和 7 年 1 月 12 日にふれあいセンターなんとうで開催。45 名の参加			
課題事項	二十歳のつどい実行委員会の応募がない。			
対応方法	出席者や保護者へ確認し、実行委員への参画を募る			
主要細事業	細事業名	内容		実績値
	二十歳のつどい開催事業	式典費用		参加 45 人
評 価	A			

E

施策名	生涯学習の充実	施策コード	411
事業名	E 生涯学習の推進	事業コード	411-1
事業内容	生涯学習講座・OB サークルの開設、まなびフェスタの開催、公民館活動の支援、教育集会所での習字教室、町民文化会館の指定管理者によるイベント開催、ふれあいセンターななとう福祉棟の指定管理		
成 果	令和 6 年度の生涯学習講座 8 件、OB サークル 4 件、自主講座 31 件の実施。教育集会所利用者 1,573 人、町民文化会館利用者 17,549 人、ふれあいセンターななとう利用者 13,197 人		
課題事項	講師人材の固定化や高齢化。様々な技術や知識の講師の参画を促す。住民連携による地域的な広がりや ICT を含めた多世代化を図る。教育集会所及び公民館を地域の交流の場として活用を図る。個別施設の長寿命化計画を進める。		
対応方法	学習講座の募集方法を工夫し、継続する。		
主要細事業	細事業名	内容	実績値
	社会教育推進事業	社会教育委員会議、社会教育振興事業補助(38 地区)	1 回、37 地区
	生涯学習講座運営事業	生涯学習講座育成(8 件)、OB サークル(4 件)	8 件、4 件
	町民文化会館管理運営事業	指定管理委託、施設整備	工事 1 件
	ふれあいセンター管理運営事業	指定管理委託(福祉棟)、施設保守管理	修繕 2 件
評 価	A		

F

施策名	生涯学習の充実	施策コード	411
事業名	F 図書室の運営	事業コード	411-2
事業内容	図書室が町民にとってより身近なものとなるように、本と触れ合う機会を増やす。本を通して地域の触れ合いの場となるよう図書室を提供する。		
成 果	令和 6 年度の図書室利用者数 674 人。巡回図書により来室困難な高齢者に本の読み語りや貸し出しの実施、絵本の読み聞かせなど、本に接する機会を提供できた。		
課題事項	蔵書の充実や保管、図書室の広報等による情報発信		
対応方法	希望図書のアンケート実施や情報発信の工夫をし、図書室利用者の向上を図る。		
主要細事業	細事業名	内容	実績値
	図書室運営事業	図書室運営業務、図書購入	674 人、806 冊
評 価	A		

G

施策名	生涯学習の充実	施策コード	411
事業名	G スポーツの推進	事業コード	411-3
事業内容	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の支援、各スポーツ団体などへ活性化支援やスポーツ教室の実施。スポーツ施設の計画的な環境整備。		
成 果	令和 6 年度のスポーツ推進大会(ビーチボールバレー92 名、ウォークラリー40 名)を開催。スポーツ教室として元プロ野球選手の講師を招き、野球教室を開催。(参加 46 名)スポーツを通して、体力、健康づくりを支援。		
課題事項	スポーツや運動を通して、多世代への交流の場を検討する。 駅伝参加への選手が少なく、チーム編成が困難になっている。 個別施設の長寿命化計画を進める。		
対応方法	地域スポーツ活動の推進、高齢化による健康づくりとの連携を図る。		
主要細事業	細事業名	内容	実績値
	保健体育事務	スポーツ推進会議、各種団体活動補助	3 回、28 団体
	体育施設管理運営事業	施設保守管理、施設整備	11 施設、23 件
	美し国駅伝参加事業	美し国駅伝参加	参加
評 価	A		

H

施策名	芸術文化の振興と伝統文化の継承	施策コード	412
事業名	H 芸術文化の鑑賞や活動機会の提供	事業コード	412-1
事業内容	南伊勢町文化協会への活動支援、文化発表会を開催し、芸術に触れる機会を提供。		
成 果	南伊勢町文化協会と共催し、南伊勢町文化祭を実施。		
課題事項	開催周知や開催場所への交通手段について検討が必要である。		
対応方法	文化祭の開催方法や交通手段との調整検討を図る。		
主要細事業	細事業名	内容	実績値
	文化活動推進事業	文化活動支援	1 団体
評 価	A		

I

施策名	芸術文化の振興と伝統文化の継承		施策コード	412
事業名	I 伝統文化の継承と文化財の保全と活用		事業コード	412-2
事業内容	南伊勢町文化財保護審議会による文化財の登録・保存。 保存活動を行っている文化財保存会等へ補助の実施。 郷土の偉人や文化財についての子どもたちへの学習を継承。			
成 果	指定登録文化財の視察を行い、文化財の保存状況を確認できた。			
課題事項	文化財の今後の保存状況により、維持保存に専門的知見や費用が必要となる。			
対応方法	文化財保護審議会で専門的知見の有無を確認し、保存の継続を行う。			
主要細事業	細事業名	内容		実績値
	文化活動推進事業	文化財保護審議会 1 回、文化財保護活動事業補助		1 回、19 件
評 価	A			

J

施策名	芸術文化の振興と伝統文化の継承		施策コード	412
事業名	J 資料館の充実		事業コード	412-3
事業内容	愛洲の館資料館運営や企画展示、少年剣道大会、東宮資料保存館運営や企画展示			
成 果	令和 6 年度の愛洲の館利用者数 4,508 人、東宮資料保存館利用者数 680 人			
課題事項	課題として、イベントに協賛してくれる地区や友の会等との連携を図る。 企画展・剣道大会等のイベントにおいての人員不足。個別施設の長寿命化計画を進める。			
対応方法	地域や団体と連携し、企画展やイベントを工夫し、実施する。			
主要細事業	細事業名	内容		実績値
	愛洲の館管理運営事業	資料館運営・企画展示、少年剣道大会		1 回、1 回
	東宮資料保存館管理運営事業	企画展示、工作教室		1 回、2 回
評 価	A			